

平成 30・31 年度用 小学校「特別の教科 道徳」

教科用図書調査票

(調査員作成資料)

神奈川県教科用図書足柄上探択地区協議会

目 次

※発行者の記載順は、文部科学省発行の小学校用教科書目録（平成30年度使用）の掲載順による。

教 科 名	発行者の略号	発 行 者
道 徳	東 書	東京書籍株式会社
	学 図	学校図書株式会社
	教 出	教育出版株式会社
	光 村	光村図書出版株式会社
	日 文	日本文教出版株式会社
	光 文	株式会社光文書院
	学 研	株式会社学研教育みらい
	廣あかつき	廣済堂あかつき株式会社

平成 30～31 年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書調査票

教科名【 道徳 】 No.【1/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
東京書籍 「新しい道徳」	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳性を培う」に関連して、各学年の学習や生活に関連づけて、考えを深めるために「付録 つながる広がる」が設けられている。 ・教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳の学習を進めるために」、巻末に「学習のふり返り」「これからもかがやく自分に！」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。巻末に学習の振り返りが設けられている。また、教材ごとに学習の手がかりが示されている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、福祉体験やボランティア体験などの体験活動との関連をはかる場面が設けられている。 ・学習指導要領の「言語活動の充実」に関連して、各学年で、友だちに伝え合う活動や体験活動を紹介した「出会う、ふれ合う」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、相手の立場に立って親切にすることを考えたり、かけがえのない命の大切さについて考えたりする教材が取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、互いに気持ちよく生活することについて考える規則の尊重や、食育についての内容が教材として取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、動物を守る取り組みや植物の環境を守る取り組みが教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考えを深めたり、整理したりするために、2学年以上の巻頭に「道徳の学習を進めるために」が取り上げられ、学習の流れが示されている。 ・言語活動の充実を図るために、巻頭に「話し合いの約束」が設けられ、各学年で話し合いの留意点がまとめられている。 ・問題解決的な学習の展開のために、巻頭に「気づく」「考える 話し合う」「振り返る 見つめる」「生かす」といった学習の進め方が示されている。特に、問題解決的な学習に対応した教材「問題を見つけて考える」が、3学年以上に掲載されている。 ・今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材を掲載しており、安全、防災教育に関する資料も取り上げられている。 ・全学年で「重要指導内容」として設定している内容項目については、繰り返し学習できるようにしている。 ・いじめ問題に対応した教材「いじめのない世界へ」を全学年に掲載している。 ・神奈川に関連する教材として、鶴岡八幡宮「左義長」の写真が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型は AB 版で、巻末に「これからもかがやく自分に！」のページがあり、自分の学びを振り返る欄や、中学生の自分へのメッセージを記入する欄が設けられている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から配色デザインの検証を行っている。ユニバーサルデザイン書体や再生紙・植物油インキが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最初には、目次が付けられている。また、各教材の最初には、キーワードとなる言葉が示されている。 ・各教材の最初に、「学習のテーマ」が示され、4つの内容項目である「自分自身を見つめて」「人とつながって」「社会とつながって」「生命、自然、大いなるもの」のマークが付けられている。 ・挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく、見やすいよう割り付けされている。

平成 30～31 年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書調査票

教科名【 道徳 】 No.【2/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
学校図書 「かがやけ みらい」 小学校道徳 読み物 「かがやけ みらい」 小学校道徳 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培う」に関連して、『読み物』『活動』それぞれに、今日的な課題や生命について等の多様な「コラム」が設けられている。 ・教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高める」に関連して、巻頭に「道徳の学習を始めよう」、別冊『活動』の巻末に「かつどうのヒント」(1,2年)、「活動の資料」(3～6年)が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養う」に関連して、『読み物』の巻頭に「道徳の学習を始めよう」が設けられ学習の進め方が示されている。読み物と併用する別冊『活動』には、「考えよう」「見つめよう」「話し合ってみよう」等の学習の手がかりが示されている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、別冊『活動』に「ありがとうをつたえよう」等、行動を促し考える場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、相手を思いやる心について考えたり、生命を守るために努力する人々の姿にふれて考えたりする教材が取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、サッカーのイエローカードについて考える規則の尊重や、自律、自由と責任についての教材が取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、震災後の生活のボランティア活動が教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを深めたり整理したりするために、別冊『活動』に、教材の登場人物の気持ちを考えたり、教材文で考えたことを基に自分を見つめ直したりする問いが提示されている。 ・言語活動の充実を図るために、『読み物』巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中で、問題意識を持つこと、自分で考えること、話し合うこと等について示されている。 ・問題解決的な学習については、『読み物』の巻頭「道徳の学習を始めよう」に、学習の流れが示されている。 ・別冊『活動』の中で、内容項目ごとに「広げよう」が設けられ、児童の体験活動や発展的な学習が促されている。 ・今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材を掲載しており、安全、防災教育に関する資料も取り上げられている。 ・神奈川に関連する教材として、大和市の林間SCレモンズの川澄選手と上尾野辺選手のエピソードが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はAB版で、AB版の別冊ノートが全ての学年に付けられており、学習の記録等を記入する欄が設けられている。 ・『読み物』と『活動』に分けられ、『活動』には『読み物』についての問いや活動などが掲載されている。 ・家庭との連携を考慮し、『活動』の巻末に「保護者の方へ」を設けている。 ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、色覚の個人差を問わず多くの人に見やすい配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最初には目次、最後には内容項目別の一覧が掲載されている。 ・各教材の最初には、4つの内容項目のマークと価値項目が書かれ、その教材のキーワードと、別冊『活動』のページが示されている。 ・『活動』には「考えよう」「見つめよう」「アクティブ」(話し合おう・書いてみよう・やってみよう)がマークで示されている。 ・挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく、見やすいよう割り付けされている。

平成 30～31 年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書調査票

教科名【 道徳 】 No.【3/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
教育出版 小学道徳 はばたこう 明日へ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、話し合いを深めるための投げかけをする「ジャンプ」が設けられている。 ・教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳の学習が始まるよ」、巻末に「1年間の道徳の学習をふり返ろう」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に道徳の授業について説明されている。内容項目ごとに考える視点が示され、教材の終わりに学習の手がかりとなる「学びの手引き」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験学習の充実」に関連して、各学年に「やってみよう」があり、役割を演じたり、実際に行動を促したりする場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、周囲の人に分け隔てなく接することの大切さについて考えたり、生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを考えたりする教材が取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、社会のためにできることを考える公共の精神や、食育についての内容が教材として取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、他国に日本の農業を伝えることや、世界の困っている子どもへできることが教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを深めたり、整理したりするために、「学びの手引き」に複数の問いが示されている。 ・言語活動の充実を図るために、教材の終わりの「学びの手引き」に、話し合いの具体的な内容や自分の考えをまとめる活動が設けられている。 ・多面的・多角的に考える工夫として、「学びの手引き」が設けられており、教材も数多く掲載されている。 ・問題解決的な学習については、教材の初めにどのような道徳的価値について考えるのかが示されている。 ・様々な分野で活躍した偉人を取り上げた教材が豊富に掲載されている。 ・今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材を取り上げている。 ・神奈川に関連することとして、相模川の大風祭りと横浜港が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・判型は、AB判で、巻末の「1年間の道徳の学習をふり返ろう」には、自分の学びを振り返って、次につなげていくための記入欄が設けられている。 ・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、またグリーン電力を使用して印刷されている。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最初には、目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各章の最初には、キーワードとなる言葉が示されている。 ・教材の最初に「自分のこと」「人とのつながりに関わること」「集団生活に関わること」「命や自然に関わること」について示したマークが付けられている。また、体験活動には「スキル」のマークが付けられている。

平成 30～31 年度小学校使用「特別の教科 道徳」の教科用図書調査票

教科名【 道徳 】 No.【4/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
光村図書 道徳 きみが いちば ん ひかるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、2 学年以上の巻頭に児童が話し合い考えを深めることができるよう「道徳の時間は」が設けられている。 ・教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳の時間は」、いくつかの教材ごとに「学びの記録」が、3 学年からは巻末に「私たちの学ぶ世界」が設けられている。 ・学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の初めに問いかけが示されており、教材の終わりには学習の手がかりとなる「考えよう」「つなげよう」が設けられている。 ・学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、学んだことを行動につなげられるよう、教材ごとに「つなげよう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやる力」に関連して、様々な思いやりの形があることについて考えたり、心からの思いやりと親切について考えたりする教材が取り上げられている。 ・「たくましく生きる力」に関連して、世界人権宣言や差別とたたかった人物の生き方が教材として取り上げられている。 ・「社会とかかわる力」に関連して、地域清掃や地域の案内など、子どもたちのボランティア活動が教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを深めたり、整理したりするために、巻頭のオリエンテーションで「話し合って考えよう」「演じて考えよう」など考えを深めていく方法について説明されている。 ・言語活動の充実を図るために、文章中に空欄を設け、登場人物の台詞を考える場面や自分の考えや気持ちを書く場面が設けられている。 ・多面的・多角的に考える工夫として、「考えよう」「つなげよう」が設けられており、今後の活動に活かせるような場面が設けられている。 ・問題解決的な学習については、巻頭の「道徳の時間は」において、学習の流れが示されている。 ・今日的な課題への取り組みとして、3 学年に多様な情報モラルの教材を取り上げている。また、いじめ問題についても「コラム」で教材を補完する内容が掲載されている。 ・神奈川に関連することとして、小田原ちょうちんが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・版型は B5 版で、大きなまとまりごとに、学びの記録を書くページが設けられている。 ・環境に配慮した紙、植物油インキを使用しており、色覚特性に対応できる色使い、デザインに配慮している。児童の学習負担を軽減するよう、書き文字と差異の生じないフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の最初には目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初には、キーワードとなる言葉が示されている。 ・教材の最初に「自分を大切にする心」「周りの人を大切にすること」「みんなで気持ちよく暮らすことを大切に思う心」「命あるもののすばらしさを感じる心」について示したマークが付けられている。

教科名【 道徳 】 No.【5/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>日本文教</p> <p>小学道徳 生きる力 小学道徳 道徳ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、いくつかの教材の終わりに考えを深めることができるよう「心のベンチ」が設けられている。 教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳のとびら」「道徳の学び方」が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材ごとに学習の手がかりとなる「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」や「学習の手引き」が設けられている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、学習の手引きの欄に、役割で演技をする方法の説明や、具体的な話し合いの仕方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、生きているからできることにはどんなことがあるのか考えたり、相手のための親切について考えたりする教材が取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、ニュースの事件から自分の行動を考えたり、挑戦し続ける人物の生き方を考えたりできる教材が取り上げられている。 「社会とかかわる力」に関連して、自ら地域行事に参加したり、ボランティア活動に取り組んだりする姿が教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えを深めたり整理したりするために、「道徳の学び方」において「考える・深める」ための方法について説明されている。 言語活動の充実を図るために、巻頭に学年に応じて「話し合ってみよう」や「動いてみよう」、「書いてみよう」が設けられ、話し合いの仕方や役割演技の例、考えを書くときのポイントが示されている。 多面的、多角的に考える工夫として、「考えてみよう」「見つめよう、生かそう」が設けられている。 問題解決的な学習については、巻頭の「道徳の学び方」において学習の流れが示されている。 今日的な課題への取り組みとして、3 学年以上に多様な情報モラルの教材を取り上げている。 いじめ問題についても「いじめをなくすために」で重点教材とされ、「心のベンチ」で各学年に応じて考えを深める工夫がされている。 神奈川に関連することとして、富嶽三十六景「神奈川冲浪裏」が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型は AB 判で、B5 判の別冊ノートが全ての学年に付けられている。別冊ノートには自分が考えたこと、友達の考えなどを記録する欄があり、学年の発達段階に応じたマスや行で設けられている。 カラーユニバーサルデザインに配慮しており、植物油インキと再生紙が使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の最初には目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。別冊ノートの最初には目次、最後には学びの振り返りができる欄が設けられている。 教材の最初に「〇〇について考えてみましょう」「〇〇したことがありますか」など、価値に迫るための導入部分の問いとなる一文が掲載されている。 教材の最初に「自分のことについて考えるお話です。」「友達やお世話になっている人との関わりを考えるお話です。」「みんなと気持ちよく暮らすことを考えるお話です。」「命や自然のすばらしさ、生きる喜びを考えるお話です。」について示したマークが付けられている。 挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく、見やすいよう割り付けされている。

教科名【 道徳 】 No.【6／8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
光文書院 小学道徳 ゆたかな心	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、教材の終わりに学んだことを生活に広げるための投げかけが設けられている。 教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「さあ、道徳の時間が始まります」「道徳の時間はこんな時間です」「いろいろな場面で」、巻末に「学びの足あと」が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の初めに、考える視点が示され、教材の終わりに学習の手がかりとなる「まとめる」「広げる」が設けられている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、「みんなでやってみよう」で、友達と協力してできる連想ゲームやロールプレイングを行う場面が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、親切とおせっかいの違いについて考えたり、自分たちがどのような人たちにどのように支えられているのかを考えたりする教材が取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、様々な職業の人物の生き方を考えたり、マナーとルールについて考えたりする教材が取り上げられている。 「社会とかかわる力」に関連して、社会奉仕活動、高齢者や下級生との交流など教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えを深めたり、整理したりするために、巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」において、考える方法や考えを深めていく方法について説明されている。 言語活動の充実を図るために、巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」では、「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」といった学習の流れや、話し合いをしながら自分の考えを深めることについて示されている。 多面的・多角的に考える工夫として、「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」が設けられている。 問題解決的な学習については、巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」において学習の流れが示されている。 今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材を取り上げている。また、補充教材が5つあり、発展的活用等ができる工夫がされている。 神奈川に関連することとして、ボランティア作業の会場として横浜が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 版型はA4版で、巻末に、「学びの足あと」のページがあり、自分の学びを振り返り記録する欄が設けられている。 再生紙と植物油インクが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の最初には目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初には、キーワードとなる言葉が示されている。 教材の最初に「自分自身のこと」「他の人とのこと」「集団や社会とのこと」「命や自然の大きな力のこと」「学年でとくに考えたいこと」について示したマークが付けられている。 教材文の下に、テーマについて考えるための手立て等が割り付けられている。 挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく、見やすいよう割り付けられている。

教科名【 道徳 】 No.【7/8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>学研教育みらい みんなの道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、考えを深めるために、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」の学びの場面が設けられている。 教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳の学習が始まるよ」、巻末の折り込みに「心のたから物」が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の終わりに「つなげよう」「深めよう」「広げよう」等が設けられ、「深めよう」では考え方の流れが示されている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、教材をもとに話し合う活動や役割演技をして心情を理解する活動が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、周りの人となかよく生きるために大切なことについて考えたり、病気やけがと戦っている人の行動からいのちの大切さについて考えたりする教材が取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、環境問題に取り組む人物や、スポーツ界で活躍した人物の生き方を考える教材が取り上げられている。 「社会とかかわる力」に関連して、震災後の復興に取り組む教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの考えを深めたり、整理したりするために、「深めよう」において「つかもう」「さがそう」「見つめよう」等の考え方の流れ及び活動が示されている。 言語活動の充実を図るために、巻頭の「道徳の学習が始まるよ」に「語り合い、考えを練ろう」が設けられ、見方を変える、話し合う、表現することについて示されている。 社会状況を反映した教材等を取り上げ、多面的・多角的に考える工夫がなされている。また、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」等も設けられている。 問題解決的な学習について、巻頭の「道徳の学習が始まるよ」において、学習の流れが示されている。 最重点テーマとして「いのちの教育」「よりよく生きる」等、既習内容を定着させるために、教材を続けて取り上げられている。 今日的な課題への取り組みとして、全学年に多様な情報モラルの教材を取り上げている。 神奈川に関連することとして、二宮金次郎が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 版型はA4版で、調べたことや考えたこと等を記入する欄がいくつかの教材の中に設けられている。 環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して製作されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の最初には目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。 教材の最初には、「私のこと」「あなたと私」「社会と私」「命や自然と私」について示したマークが付けられている。 挿絵などのカットが効果的であり、人物の写真が大きく割り付けられている。また、文字の大きさや行間等は大きく取っており、児童にとって見やすい工夫がされている。

教科名【 道徳 】 No.【8／8】

発 行 者 教 科 書 名	教育基本法、学校教育法及び 学習指導要領との関連	かながわ教育ビジョンとの関連	内 容	構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	表 記 ・ 表 現
<p>廣濟堂あかつき</p> <p>みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分をみつめ、考える 道徳ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法に示されている「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、「学習を広げる」の中に、考えを深めるために「活動しよう」や「もっと考えよう」等が設けられている。 教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に「道徳の時間はこんな時間」、巻末に「心のしおり」が設けられている。 学校教育法に示されている「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」に関連して、巻頭に学習の進め方が示されている。教材の終わりに学習の手がかりとなる「考えよう 話し合おう」が設けられている。 学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、地域や公共の場所での節度ある行動やボランティア活動の大切さについて考える教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる力」に関連して、生命の尊さについて考えたり、だれにでも親切にすることの大切さについて考えたりの教材が取り上げられている。 「たくましく生きる力」に関連して、誠実な行動を最後まで取ったことについて考えたり、本当の豊かさについて考えたりする教材が取り上げられている。 「社会とかかわる力」に関連して、東日本大震災や阪神淡路大震災のボランティア活動が教材として取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値に対して自らの考えを整理するために、自分の感じたことや考えたことを書くための別冊ノートが用意されている。 言語活動の充実を図るために、巻頭の「道徳の時間はこんな時間」において、意見の伝え方、聞き方、話し合い方等について説明されている。 多面的・多角的に考える工夫として、「考えよう 話し合おう」が設けられている。 問題解決的な学習について、巻頭の「道徳の時間はこんな時間」において、学習の流れが説明されている。 名作から新しい作品まで幅広く掲載されている。また、現代的な課題を含むものや問題解決的・体験的な学習を促すものまで多様な教材が掲載されている。 今日的な課題への取り組みとして、3 学年以上に多様な情報モラルの教材を取り上げている。 神奈川に関連することとして、江の島沖での東京オリンピックでのヨット競技について取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型は AB 判で、AB 判の別冊ノートが全学年に付けられている。別冊ノートには、自分が考えたこと、友達の考えなどを記録する欄があり、学年の発達段階に応じたマスや行で設けられている。また巻末には、折り返みとして自分を振り返るページ「心のしおり」が設けられている。 色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られており、再生紙と植物油インキが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の最初には、目次、最後には内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初には、キーワードとなる言葉が示されている。 教材の最初には、「自分自身に関すること」「人との関わりに関すること」「集団や社会とのかかわりに関すること」「生命や自然などとの関わりに関すること」について示したマークが付けられている。